

14.4

1000

14.4-1000



1200501209638

岡山縣社寺兵事概要

岡山縣學務部編



始



14
100

西和九年四月

岡山縣社寺兵事概要

岡山縣學務部

岡山縣社寺兵事概要

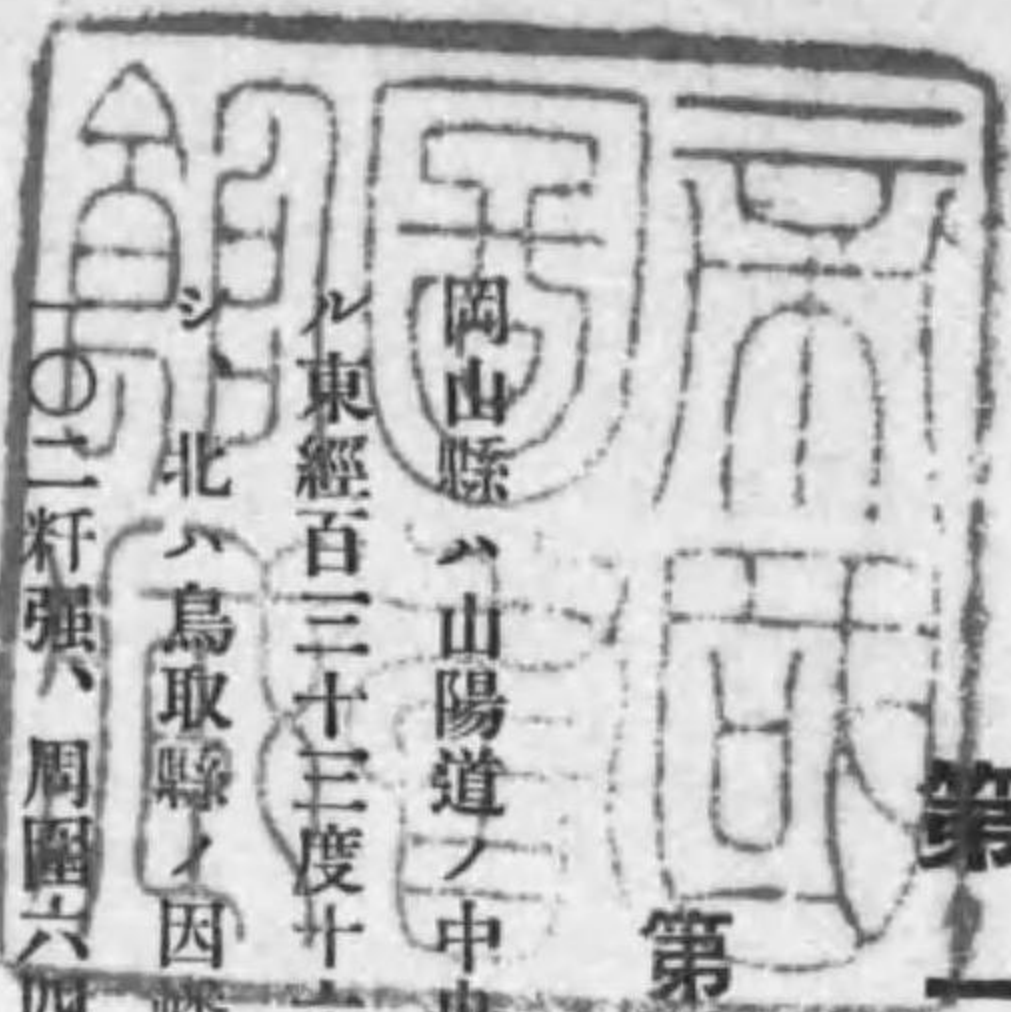
目次

第 一 章	總 說	一
第 二 章	岡山縣々勢ノ大要	一
第 三 章	岡山縣沿革ノ大要	一
第 四 章	町村數世帶數人口面積	一
第 一 節	社 寺 宗 教	一
第 一 節	神 社	六
第 二 節	神 社 數	六
第 三 節	神 職 數	七
第 四 節	神饌幣帛料供進指定神社數	九
第 五 節	官國幣社並縣社鎮座地、祭神竝祭日	一
第 六 節	官國幣社收支決算並基本財産	一五
第 七 節	縣社以下神社收支決算並基本財産	一八



岡山縣社寺兵事概要

144-1000



第一章 總說

第一 岡山縣々勢ノ大要

岡山縣ハ山陽道ノ中央ニ位シ備前、備中、美作ノ三國ニ亘リ北緯三十四度二十五分ヨリ三十五度二十分ニ至ル東經百三十三度十六分ニ起リ百三十四度二十四分ニ至ル、東ハ兵庫縣ノ播磨ニ界シ西ハ廣島縣ノ備後ニ隣シ北ハ鳥取縣ノ因幡、伯耆ニ接シ、南ハ瀬戶内海ヲ隔テテ香川縣ノ讚岐ト相對ス、東西一〇六杆強、南北一〇二杆強、周圍六四四杆強ニシテ面積七、〇三三平方杆餘ナリ

地形畧方形ニシテ北方ニハ陰陽ノ分水嶺タル中國山脈東西ニ走り那岐、泉、蒜ノ高山起伏シ其ノ餘脈蜿蜒トシテ南下シ更ニ分レテ二脈トナリ東シテ龍天、熊等ノ諸山トナリ西シテハ鷄足、太平等ノ諸嶺ヲ起シ餘脈南下シテ海ニ入ル所兒島ノ大半島トナル

此ノ東西二分脈ニ依リ包マレタル平地ハ實ニ本縣唯一ノ曠野ニシテ沃野遠ク連リ海ニ至リテ盡ク地勢既ニ北ニ高山ヲ控ヘ其ノ支脈北南ニ至ルヲ以テ諸川皆其ノ源ヲ北ニ發シ南流シテ海ニ入ル中ニ三大川ト稱スルアリ曰ク吉井川、曰ク旭川、曰ク高梁川之レナリ、吉井川ハ源ヲ美作ノ北境ニ發シ加茂、吉野等ノ諸流ヲ合セ備

7

官祭招魂社

二〇

8

神職會

二三

第 二

寺院會

三三

第 三

教會

三六

第三章 兵事

事

四一

第 一

壯丁人員

四一

第 二

令第七條志願者

四三

第 三

壯丁ノ體格狀況

四四

第 四

壯丁トラホーム病患者調

四六

第 五

所在不明ノ爲徵兵處分未濟者調

四七

第 六

短期現役兵身體檢査成績

四九

第 七

海軍志願兵檢査成績

五一

第 八

在郷軍人會員調

五五

第四章 國寶

寶

六一

前ノ東部ニ出テ南流シテ海ニ入ル、旭川亦作北ニ發源シ新庄、備中等ノ諸流ヲ併セ備前ノ西部ヲ南下シ兒島灣ニ注グ、而シテ美作ノ市街地タル津山市ハ吉井川ノ上流ニ枕シ池田家ノ居城地タリシ岡山市ハ旭川ノ下流ニ跨レリ、高粱川ハ源ヲ備中ノ北部ニ發シ成羽、小田ノ小流ヲ合セ南流シテ水島灣ニ入ル、高粱町ハ此ノ中流ニ臨ミ縣下ノ名邑ナリ

是等山川ノ形勢ニヨリ三國ヲ分チテ左ノ三市十九郡トナス、而シテ岡山市ハ備前ノ南方ニ位シ縣治機關茲ニ在リ

備 前 岡山、御津、赤磐、和氣、邑久、上道、兒島(一市六郡)

備 中 倉敷、都窪、淺口、小田、後月、吉備、上房、川上、阿哲(一市八郡)

美 作 津山、真庭、苫田、勝田、英田、久米(一市五郡)

本縣ハ南方ニ瀬戸内海ヲ控ヘタルヲ以テ島嶼亦多ク呼應遠近煙波漂渺ノ間ニ隱顯シ鹿久居島外十數島アリ海岸線四七一杆ヲ有ス、港灣ハ備前ニ日生、牛窓、宇野、日比、下津井、備中ニ玉島、寄島、笠岡等ノ諸港アリ何レモ瀬戸内海ニ頻シ交通運輸至便ナリ、兒島灣ハ縣下ノ名灣ナレドモ水淺クシテ船舶ノ碇泊ニ適スル良港ヲ有セズ

第二 岡山縣沿革ノ大要

岡山縣ハ備前、備中、美作ノ三國ヲ管轄シ岡山ヲ以テ縣政統治ノ處トナス、上古ハ三國一帯ノ地ヲ總稱シテ吉備ノ國ト曰フ

神武天皇乙卯歲三月東征シテ此ノ國ニ幸シ行宮ヲ高島ニ造リ蹕ヲ駐ムル事三年ニシテ内楫ヲ修メ兵食ヲ蓄ヘ再ビ東征ノ師ヲ興シ撥亂反正ノ偉業ヲ舉グ萬世不易ノ皇基ヲ起シ給ヘリ崇神天皇ノ十年四道將軍ヲ置クニ方リ吉備津彥命此地方ヲ綏撫シ庶民久シク泰平ノ澤ヲ享ク次デ行政區劃ヲ定メテ五郡ヲ置キ天武天皇ノ御宇ニ吉備ノ國ヲ分ツテ備前、備中、備後ノ三トナス、元明天皇ノ和銅六年ニ備前國ノ六郡ヲ割テ新ニ美作國ヲ置ク、源平以後治亂相繼ギ文明ノ初ニ至リ三國大ニ亂ル備前ハ浦上、松田兩氏ノ版圖ニ屬シ美作ハ浦上、後藤兩氏ノ領地トナル浦上氏ノ臣宇喜多氏起リ浦上、松田兩氏ヲ滅シ備前ヲ略シ又後藤氏ヲ滅シ美作ヲ略ス此時ニ當リ出雲ノ日子氏ハ美作ノ北部ヲ掠奪シ安藝ノ毛利氏ハ備中ヲ侵略シテ之ヲ收ム日子氏滅ブニ及ビテ毛利氏ハ遂ニ美作ヲ併セ以テ宇喜多氏ニ抗ス天正年中宇喜多氏款ヲ羽柴氏ニ通ズ毛利、羽柴ノ兩氏相和スルニ及ビ三國悉ク宇喜多氏ノ有トナル關ヶ原ノ役宇喜多秀家敗績シテ其ノ封ヲ失ヒ小早川秀秋代テ之ヲ領ス慶長七年嗣ナクシテ國除カル全八年池田忠繼備前ニ森忠政美作ニ封セラル寛永九年忠繼卒シ嫡嗣光仲封ヲ因幡、伯耆ノ二國ニ徒サルルニ及ビテ池田光政代リテ備前ヲ領ス備中ノ地ハ兩板倉氏(松山)關氏(新見)木下氏(足守)伊東氏(岡田)蒔田氏(淺尾)山崎氏(成羽)ニ分封セラル元祿年中森氏嗣ナクシテ國除カレ松平長矩代テ美作ヲ領ス明和元年三浦明次美作、勝山ニ封セラシ慶應三年松平氏(石州濱田城主)ノ治所ヲ公文(久米郡倭文)ニ移サルルニ至リ美作ノ地ハ遂ニ三諸侯ノ分治スル所トナル、維新ノ後諸侯封土ヲ奉還スルニ及ビ備前ニ岡山藩ヲ置キ備中ニ足守、庭瀬、淺尾、成羽、岡田、鴨方、松山、生坂、新見ノ九藩ヲ置キ美作ニ津山、真島、鶴田ノ三藩ヲ置キ舊藩主ヲ以テ各其ノ知事ニ任ス、尋デ明治四年十一月藩ヲ廢シ備前ニ岡山縣ヲ置キ備中ニ小田縣ヲ美作ニ北條縣ヲ置ク、後明治八年十二月小田縣ヲ全九年四月北條縣ヲ岡山縣ニ合併ス、明治三十三年四

月ニ至リ郡ノ分合ヲ行ヒ一市十九郡トス、大正十五年七月一日郡役所ヲ廢止シ阿哲支廳ヲ置ク、昭和三年四月倉敷ニ、昭和四年二月津山ニ各市制ヲ布キ三市十九郡トナル、昭和七年三月三十一日阿哲支廳ヲ廢止ス

第三 町村數、世帯數、人口、面積

郡市名	町		村		計數	本籍人口	現在人口		世帯數	面積
	町	村	町	村			男	女		
岡山	1	1	1	1	4	99,874	74,022	74,645	33,083	47,490
倉敷	1	1	1	1	4	23,497	14,097	16,015	6,592	18,200
津山	1	1	1	1	4	32,888	16,126	18,033	7,379	38,482
御津	1	1	1	1	4	65,228	24,815	25,141	10,656	38,859
赤磐	1	1	1	1	4	59,859	22,549	22,561	9,714	32,938
和氣	1	1	1	1	4	58,451	23,278	23,080	10,177	37,381
久氣	1	1	1	1	4	62,739	24,492	23,873	10,446	17,756
上島	1	1	1	1	4	50,817	21,093	21,877	9,467	11,822
兒島	1	1	1	1	4	120,074	56,101	57,193	25,746	290,409
都窪	1	1	1	1	4	73,764	30,526	31,322	13,352	119,995
浅井	1	1	1	1	4	121,663	48,182	50,131	21,228	172,697
小田	1	1	1	1	4	106,439	41,763	43,440	17,982	262,971
後月	1	1	1	1	4	49,514	19,019	19,895	7,808	155,083

郡市名	町		村		計數	本籍人口	現在人口		世帯數	面積
	町	村	町	村			男	女		
吉備	5	5	5	5	20	90,263	32,637	33,562	14,441	375,454
上房	2	2	2	2	8	54,061	20,574	20,746	8,546	306,605
川上	2	2	2	2	8	60,975	21,489	21,519	8,314	419,642
阿哲	2	2	2	2	8	61,053	26,023	24,702	10,046	795,775
眞庭	3	3	3	3	12	72,383	29,654	29,737	12,530	825,759
勝田	1	1	1	1	4	60,029	23,722	22,642	9,442	712,859
勝田	1	1	1	1	4	71,826	26,180	25,618	10,510	373,742
英田	2	2	2	2	8	53,547	19,320	18,655	7,976	367,203
米田	2	2	2	2	8	58,122	22,303	21,608	9,480	375,639
合計	58	58	58	58	236	1,507,066	637,965	645,997	274,915	7,046,488

備考 本籍人口ハ昭和六年十二月末日現在、面積ハ昭和九年四月現在、町村數ハ昭和九年四月、其ノ他ハ昭和五年十月一日現在國勢調査ニ依ル

第二章 社寺宗教

第一 神社

1 神社 數

(昭和八年末現在)

現在神社數ハ官幣中社一社、國幣中社二社、國幣小社一社、縣社三十社、郷社百十五社、村社千百八十七社、無格社三千六百七十五社、合計五千十一社ニシテ之ヲ社格郡市別ニ示セバ左ノ如シ

郡市名	官幣中社	國幣中社	國幣小社	縣社	郷社	村社	無格社	合計
岡倉津御赤和邑上兒								
山敷山津磐氣久道島								
合計	1	2	1	30	150	1,087	3,675	5,011

郡市名	官幣中社	國幣中社	國幣小社	縣社	郷社	村社	無格社	合計
都窪口田月備房上哲庭田田田英勝久合								
合計	1	2	1	30	150	1,187	3,675	5,011

2 神職 數

(昭和八年末現在)

神社數五千十一社ノ多キニ達スルモ神職數ハ僅ニ四百九十九名ニ過ギズ年々社司社掌試験ヲ行ヒ神職タルベキ資格者ノ増加ニ努メツツアリ現在神職數ヲ郡市別ニ示セバ左ノ如シ

赤和邑上兒都淺小後吉上川阿真苦勝英久合

磐氣久道島窪口田月備房上哲庭田田田米計

三〇 二 一 一 | 三 一 | 三 二 | | | | 一 一 | 二 一

一 一 五 一 三 五 九 一〇 一 五 二 二 六 二 一 一 四 一 七 六 四 六 八

四三〇 二七 二五 三〇 二 三 五 一 三 三 一 二 一 八 二 四 一 八 二 四 二 三 一 四 三 八 一 三 一〇 二 二

五七五 四二 三一 四〇 三三 六九 三六 一四 二七 二八 一九 二五 二七 一五 四一 一五 一七 一八 三一

10

4 官國幣社並縣社、祭神並祭日

官國幣社並縣社ノ祭神、祭日ヲ神社別ニ示セバ左ノ如シ

鎮座地	社格	神社名	祭神	祭日	例祭	祈年祭	新嘗祭
吉備郡真金町	官幣中社	吉備津神社	大 吉備津彥命、相殿日子刺別命、千々速比賣命、御津友別命、津彦命、日若日子健吉備津彦命、鏡造天糠戶神、石凝姥神	十月二日、十一月十八日、十七日、廿三日	十月二日	二月十一日	十一月廿三日
苦田郡一宮村	國幣中社	中山神社	鏡造天糠戶神、石凝姥神	四月廿四日、二月廿四日、十一月廿三日	四月廿四日	二月廿四日	十一月廿三日
邑久郡大宮村	國幣中社	安仁神社	五相殿瀨命、氷命、御毛沼命	十一月十一日、三月十一日、十一月廿三日	十一月十一日	三月十一日	十一月廿三日
御津郡一宮村	國幣小社	吉備津彦神社	大 吉備津彥命、相殿日本根子彦國牽天皇、稚日本根子彦太日天皇、御間城入彦五十瓊殖天皇、倭迹々日百襲比賣命、相殿日百襲比賣命、武安靈神、妹命	十一月廿三日、二月十七日、十一月廿三日	十一月廿三日	二月十七日	十一月廿三日
岡山市石關町	縣社	岡山神社	大 吉備津彥命、相殿日百襲比賣命、武安靈神、妹命、稻山咋魂命	十月十四日、四月十五日、十一月廿四日	十月十四日	四月十五日	十一月廿四日
同 小畑町	同	伊勢神社	天相殿豐受大神、栲幡千姬命	十月十七日、四月十六日、十一月廿八日	十月十七日	四月十六日	十一月廿八日

11

岡山市門田縣	社三勳神社	和氣清麿卿、楠正行朝臣、兒島高德	四月三日	十一月廿七日
同 門田同	玉井宮	豐玉毘賣命、德川家康公	十一月廿五日	十一月廿五日
同 七日市同	東照宮	相殿彦火々出見命、玉依毘賣命	十一月廿五日	十一月廿五日
御津郡今村同	春日神社	天兒屋根命 相殿武甕槌命、菅原大神	十二月廿一日	十一月廿六日
赤磐郡山方村同	今村宮	天照大神、素盞鳴命 相殿八幡大神、春日大神	十一月十八日	十一月三十日
和氣郡藤野村同	宗形神社	多紀理毘賣命、專島比賣命、田心比賣命 大己貴命、大日靈命、豐宇氣比賣命 須佐之男命、菅原神、大山咋命 速玉男之命、伊邪那美命、事解男之命 天鈿女命、鐸石別命、弟彥王命、和氣清麿命 和氣廣蟲比賣命 相殿應神天皇	十一月十六日	十一月廿六日
同 伊里村同	關谷神社	池田光政朝臣、池田輝政卿、池田利隆朝臣	十一月廿五日	十一月廿四日
上道郡沖田村同	沖田神社	天照大神、倉稻魂命、素盞鳴命 句々廼智命、軻遇槌命	十一月十一日	十一月廿三日
兒島郡琴浦町同	由加神社	手置帆負命、彥挾知命	四月廿三日	十一月廿七日

倉敷市笹沖縣	社足高神社	大山津見命 相殿石長比賣命、木花之佐久夜毘賣命	十一月十九日	十一月廿八日
吉備郡總社町同	總社	大名持命、須世理姬命 相殿神祇齋戶八柱大神	十一月十九日	十一月廿九日
同 岩田村同	鼓神社	高靈持命、樂々森彥命、吉備津彥命 遺名持命、太玉武彥命、天穗日命	十一月廿五日	十一月三十日
上房郡高梁町同	八重籬神社	伊賀守板倉勝重、周防守板倉重宗	四月廿九日	十一月一日
同 高梁町同	八幡神社	應神天皇、仲哀天皇 神功天皇、大天孫、天兒屋根命 相殿仁德天皇、天孫、天兒屋根命	十一月十五日	十一月三十日
同 吉川村同	八幡神社	應神天皇、猿田彥命、稚日女命、素盞鳴命 稻田姬命、大國主命、八千才命、屋船豐宇氣姬命 祓所四柱神、大山祇命、倉稻魂命、崇德天皇 武內宿禰、天御中尊、倉稻魂命、佐々森彥命 相殿仲哀天皇、神功皇后	十一月廿六日	十一月廿八日
阿哲郡豐永村同	日咋坂鐘乳穴神社	大己貴命、譽田別命、素盞鳴命 吉備津彥命、太玉靈命、櫛稻魂命 保食彥命、瓊杵尊命、櫛明玉命 豐玉彥命、瓊杵尊命	十一月十一日	十一月廿一日
真庭郡勝山町同	高田神社	伊弉諾命、天照大神、速玉之賣命 事解之男命、伊弉冉命、豐受比賣命	十一月十九日	十一月廿三日

一、雜收	四五、一〇〇	三九、七三〇	五一、〇二〇	一〇一、五三〇
一、用途指定寄附金				五〇、〇〇〇
一、恩給法納金	四六、九二〇	三四、八〇〇	二九、六四〇	二四、四〇〇
一、前年度繰越金		一〇三、六三〇		
一、繰入	一、七七五、〇〇〇	一、〇四〇、〇〇〇	八五一、五一〇	一、三八五、五九〇
一、下計	一五、九九五、二七〇	六、二八、六五〇	五、七三三、四五〇	七、〇四五、三五〇

一、祭典費	一、二一三、二八〇	四五六、七二〇	六〇九、四七〇	一、〇一六、八〇五
一、俸給及雜給費	六、〇七七、九二〇	三、五九六、二六〇	二、九七〇、〇〇〇	二、九九五、四六〇
一、旅費	一、〇四九、〇〇〇	三五九、〇〇〇	三三三、二四〇	四〇六、一五〇
一、旅費	四、八〇五、三一〇	六八九、八九〇	八一六、七五〇	一、二七六、七六五
一、境内外諸費	一、〇三〇、四七〇	三九九、七八〇	二五〇、五六〇	三九七、五五〇
一、營繕費	一八二、八〇〇	四四、六四〇	四九、〇二〇	二七〇、三六〇
一、國庫納金	八六三、五九〇	二六九、〇一〇	五九七、八四〇	二三五、二七〇
一、繼續費	四六、九八〇	三四、八二〇	二九、七〇〇	二四、三八〇
一、寄附金	二〇四、〇〇〇	一一六、二〇〇	六〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
一、補助費				
一、社債				三六〇、八五〇

一、雜支	二〇〇、〇〇〇	一一、七六〇
一、計	一五、六七三、三五〇	七、〇四五、三五〇
一、收支差引殘金	三二一、九二〇	〇

官國幣社基本財産其ノ他資金 (昭和七年度末現在)

種別	神社名	基本財産		豫備資金		保存資金	
		土地	建物	現金	有價證券	現金	有價證券
合	吉備津神社	二六九、四〇〇		一九、三八五、二四八	四、四〇〇、〇〇〇	三、七五〇、〇〇〇	四、二七四、七二五
	中山神社	五、四四二、〇〇〇		二〇、二二二、八二三	三〇三、三五三	一、二〇〇、〇〇〇	一、四九四、二〇〇
	安仁神社			一五、三六四、一七〇		七七、七八三	
	吉備津彦神社			二一、八〇六、七七〇		一〇〇、五三〇	
合	基本財産	二六九、四〇〇		一九、三八五、二四八	四、四〇〇、〇〇〇	三、七五〇、〇〇〇	四、二七四、七二五
	豫備資金			二〇、二二二、八二三	三〇三、三五三	一、二〇〇、〇〇〇	一、四九四、二〇〇
	保存資金			一五、三六四、一七〇		七七、七八三	
	合計			二一、八〇六、七七〇		一〇〇、五三〇	

收 支 差 引 殘 金	一、基本財産造成費		一、過年度支費		一、保管諸費		一、營業費積立	
	基本財産積立	翌年度へ繰越	基本財産積立	翌年度へ繰越	基本財産積立	翌年度へ繰越	基本財産積立	翌年度へ繰越
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五
二、〇三六	一、三七八	六三	四三、六二三	一、三八九	一、三五七	三二	四、九八五	七、六五五

縣社以下神社基本財産

(昭和七年度末現在)

社格別	種別	土地立木建物			有價證券		現金		特別積立		合計
		土地	立木	建物	有價證券	現金	有價證券	現金	合計		
縣社	(明社)	一四七、七一〇	—	二七〇	—	八四、〇三五	—	三九、三一五	—	—	二七一、三三〇
郷社	(一五社)	三三八、四三二	—	六八〇	—	一三三、四八一	—	一二八、五九四	—	—	六〇一、一八七
村社	(四〇社)	一、〇九九、九八六	—	一、五四〇	—	三三八、三八三	—	二九〇、三一〇	—	—	一、七三〇、二一九
計		一、五八六、一一八	—	二、四九〇	—	五五五、八九九	—	四五八、二一九	—	—	二、六〇二、七三六

7 官祭招魂社

官祭招魂社ハ明治二年六月舊岡山藩主之ヲ岡山市門田字幣立山ニ創建シ大正四年四月同所字奥市ニ移轉セリ

現境内一千五百二十七坪ニシテ本殿、拜殿、神饌所、奏樂殿、廻廊、社務所、倉庫ヲ具備シ戊辰戰役以來國難ニ殉ジタル將卒二千八百四柱ヲ祭祀ス、大祭ハ毎年四月三十日ニシテ其ノ祭式左ノ如シ

官祭招魂社例祭式

當日早旦神職神殿ヲ裝飾シ祓所ヲ設ケ午前九時一同着席

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 先 祓 詞 ヲ 奏 ス | 此 間 奏 樂 |
| 次 盥 水 行 事 | 一 同 起 立 |
| 次 大 麻 行 事 | |
| 次 齋 主 御 扉 ヲ 開 ク | 此 間 奏 樂 一 同 起 立 |
| 次 神 饌 ヲ 傳 供 ス | 此 間 奏 樂 |
| 次 齋 主 祝 詞 ヲ 奏 ス | 一 同 起 立 |
| 次 祭 主 (地 方 長 官) 祭 文 ヲ 奏 ス | 一 同 起 立 |
| 次 祭 主 玉 串 ヲ 奉 ル | 一 同 起 立 |
| 次 齋 主 玉 串 ヲ 奉 ル | 一 同 起 立 |
| 次 齋 員 拜 禮 | 一 同 起 立 |
| 次 岡 山 衛 戍 司 令 官 玉 串 ヲ 奉 ル | 一 同 起 立 |
| 次 岡 山 市 長 玉 串 ヲ 奉 ル | 一 同 起 立 |
| 次 招 魂 社 維 持 會 理 事 長 玉 串 ヲ 奉 ル | 一 同 起 立 |
| 次 岡 山 縣 招 魂 祭 委 員 長 玉 串 ヲ 奉 ル | 一 同 起 立 |

- 次 池田侯爵玉串ヲ奉ル
 - 次 遺族總代玉串ヲ奉ル
 - 次 將校、同相當官、在郷軍人、傷痍軍人、勅任、奏任、判任官各總代玉串ヲ奉ル
 - 次 赤十字社員、愛國婦人會員、將校婦人會員、各總代玉串ヲ奉ル
 - 次 舞 樂
 - 次 玉串並神饌ヲ撤ス
 - 次 齋主御扉ヲ閉ツ
 - 次 各 員 退 下
- 此 間 奏 樂
- 此 間 奏 樂 一 同 起 立
- 此 間 奏 樂

8 神 職 會

岡山縣神職會ハ明治四十年六月九日ノ創立ニ係リ現在會員四百八十名ヲ有ス、斯道興隆ノ爲各般ノ事業ヲ行ヒ年ト共ニ發展ヲ遂ゲツアリ、會則及昭和七年度收支決算左ノ如シ

岡山縣神職會規則 (大正十五年五月十四日改正)

第一章 目的

第一條 本會ハ神社行政ノ發展祭式及國典ノ講究並神職任務ノ督勵ヲ期スルヲ以テ目的トス

第二章 名稱 位置

第二條 本會ハ岡山縣神職會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ岡山縣廳内ニ置キ支部ヲ各郡市ニ置ク

支部ハ其ノ所在地郡市名ヲ冠稱ス

第三章 組織

第四條 本會ハ本縣在住ノ神職ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事情アル郡市ハ支部規則ノ定ムル所ニ依リ神職以外ノ者ヲシテ特ニ會員タラシムルコトヲ得

第四章 職 制

第五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

- 總 理 一 名 會 長 一 名 副 會 長 二 名 參 事 若 干 名
- 幹 事 若 干 名 評 議 員 若 干 名 書 記 若 干 名

第六條 總理ハ本縣知事ヲ戴キ會長ハ主務ノ部長ヲ之ニ擬ス

副會長ノ内一名ハ主務ノ課長ヲ以テ之ニ擬シ一名ハ評議員會ニ於テ神職中ヨリ之ヲ選舉ス

參事ハ學識名望及斯道ニ經驗アル者ヨリ會長之ヲ囑託ス

幹事ハ主務ノ屬官及神職中ヨリ會長之ヲ囑託ス

評議員ハ各支部ニ於テ選定シ會長ニ報告スルモノトス

書記ハ會長之ヲ命免ス

第七條 支部ニ左ノ職員ヲ置ク

支部長 一 名 幹 事 若 干 名 評 議 員 若 干 名

第八條 支部長支部評議員各支部ニ屬スル會員中ヨリ支部ニ於テ之ヲ選定ス支部幹事ハ支部長之ヲ囑託ス

第九條 選舉シタル副會長及評議員ノ任期ハ四ケ年トス但シ滿期後再選ヲ妨ケス補欠ノ任期ハ前任者ノ殘期

間トス

第十條 總理ハ會務ヲ總理シ會長ハ會務ヲ統督ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス

第十一條 參事ハ樞要ノ會務ヲ贊畫ス

第十二條 幹事ハ會長又ハ支部長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ處理ス

第十三條 削 除
 第十四條 評議員ハ會長又ハ支部長ノ諮詢ニ應シ會務ヲ審議ス
 第十五條 削 除
 第十六條 書記ハ上職ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
 第十六條ノ二 會長ハ必要ニ應シ講師ヲ囑託シ國典及祭式ノ教授ヲ擔任セシム
 第十七條 本會ノ職員ハ總テ名譽職トス
 幹事評議員ハ實費辨償ヲ給ス
 講師及書記ニハ手當ヲ給與ス

第五章 會 議

第十八條 會議ハ總會及評議員會ノ二種トス
 第十九條 評議員會ハ毎年一回之ヲ開ク但シ臨時會ヲ召集スルコトヲ得
 總會ハ必要ヲ認メタル時之ヲ召集ス
 參事及支部職員ハ評議員會ノ議事ニ參與スルコトヲ得
 第二十條 評議員會ハ會務ニ關シ會長ノ諮詢シタル事項ヲ審議ス
 第二十一條 會議ハ總テ會長及支部長故障アルトキハ副會長又ハ幹事之ヲ代理ス
 第二十二條 評議員會若クハ總會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス
 第二十三條 評議員會ハ議長ヲ除キ出席員過半數ニ滿タサレハ議決スルコトヲ得ス
 第六章 會 計
 第二十四條 會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
 第二十五條 毎年度收入支出豫算ハ評議員會ノ議決ヲ經テ會長又ハ支部長之ヲ定ム

收入支出決算ハ毎年評議員會ニ報告スルモノトス

第二十六條 本會ノ經費ハ支部ノ負擔トス支部ノ經費ハ支部限リ適宜之ヲ定ムルモノトス

第七章 雜 則

第二十七條 祭式及國典講習ニ關スル規則其ノ他本則施行ニ必要ナル細則ハ別ニ定ムル所ニ由ル
 第二十七條ノ二 第七條、第八條及第二十一條ニ依リ難キ特殊ノ事情アル郡市ハ支部規則ニ於テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得
 第二十八條 支部規則ハ本規則ニ準據シ各支部ニ於テ之ヲ定メ會長ノ認可ヲ受クルモノトス
 支部規則設定並ニ變更ハ直チニ之ヲ會長ニ報告スヘシ
 第二十九條 會員ニシテ本會ノ利害得喪ニ關シ意見アルトキハ會員十名以上ノ同意ヲ得テ會長ニ提出スルコトヲ得
 第三十條 本規則ノ變更ヲ要スルトキハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ改正スルコトヲ得
 附 則
 本規則改正ノ際現ニ支部長、支部幹事タル者ハ後任者就職迄支部評議員タル者ハ最近ノ定期改選期迄在任スルモノトス

岡山縣神職會收入支出決算

入 (△印ハ減)

(昭和七年度)

科	目	本年 決算 額	本年 豫算 額	比較 増減	備 考
第一款 負 擔 金		1,387,000	1,551,000	△ 164,000	
第一項 負 擔 金		1,387,000	1,551,000	△ 164,000	

科目	金額	備考
第一目 支部負擔金	一、三八七、〇〇〇	會員負擔金
第二款 大麻曆頒布費收入	一、一八、五六〇	
第一項 頒布費收入	一、一八、五六〇	頒布費本會收入
第二目 雜收入	一、〇九六、二五〇	頒布費預金利息
第三款 雜收入	二二、三一〇	
第一項 雜收入	七五四、七七〇	
第一目 講習料	二六〇、〇〇〇	國典、祭式講習料
第二目 雜收入	四九四、七七〇	過年度收入及預金利息
第四款 寄贈金	二二〇、〇〇〇	
第一項 寄贈金	二二〇、〇〇〇	官國幣社寄贈金、
第五款 綠越金	二二〇、〇〇〇	
第一項 綠越金	二二〇、〇〇〇	
第六款 前年度綠越金	二二〇、〇〇〇	
第一項 前年度綠越金	二二〇、〇〇〇	
第七款 補助金	九二〇、〇〇〇	
第一項 補助金	九二〇、〇〇〇	
第八款 縣費補助金	九二〇、〇〇〇	
第一項 縣費補助金	九二〇、〇〇〇	
第九款 資金支出	七〇〇、〇〇〇	
第一項 資金支出	七〇〇、〇〇〇	
合計	五、三三九、五二〇	

科目	金額	備考
第一目 豫備資金支出	七〇〇、〇〇〇	
合計	五、三三九、五二〇	
第一目 事務所費	七五、四五〇	
第一項 事務取扱費	七五、四五〇	書記俸給
第二目 俸給	三二二、四一〇	職員賞與
第三目 旅費	一三〇、〇〇〇	職員出張旅費
第四目 退職給與金	九九、七三〇	幹事、書記退職記念品料 不足額四五圓、豫備費ヨリ流用
第五目 備品費	六五、〇〇〇	副會長印章新調費
第六目 消耗品費	一、三〇〇	諸用紙其他
第七目 通信費	八、八五〇	郵便切手其他電信電話料共
第八目 印刷費	一七、九〇〇	諸印刷代
第九目 雜費	一〇、二六〇	振替口座手数料其他小使給仕年末 手當
第二款 會議費	四七二、〇五〇	
第一項 會議費	四七二、〇五〇	
第一目 評議員會費	一五七、三五〇	評議員實費辨償其他雜費
合計	五、三三九、五二〇	

支出 (△印ハ減)

第二目 支部長會費	八〇、三〇〇	八五、〇〇〇	四、七〇〇	郡市支部長會其他雜費
第三目 幹事會費	二三四、四〇〇	二六〇、〇〇〇	二五、六〇〇	幹事會實費辨償其他雜費
第三款 事業費	三、七二八、七一〇	四、五四八、〇〇〇	八一九、二九〇	
第一項 神職養成講習費	三五八、五四〇	三六五、〇〇〇	六、四六〇	學神祭典諸費
第一目 祭典費	一一、三六〇	一五、〇〇〇	三、六四〇	講師謝儀
第二目 講師手當	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	〇	會場費其他雜費
第三目 雜費	四七、一八〇	五〇、〇〇〇	二、八二〇	
第二項 現任神職修養費	一七五、〇〇〇	二六〇、〇〇〇	八五、〇〇〇	講師謝儀三人
第一目 祭式講習費	七五、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	講師謝儀五人
第二目 實務研究費	一〇〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	
第三項 供進使作法講習費	〇	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	
第一目 講師手當	〇	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	
第四項 雅樂講習費	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	〇	講師謝儀四人
第一目 講師手當	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	〇	講習生補助
第五項 獎勵費	二〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	
第一目 講習生補助	二〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	
第六項 大麻曆頒布事務費	九三三、三四〇	一、一五、〇〇〇	一八一、六六〇	頒布式典諸費
第一目 頒布式費	四四、〇五〇	七〇、〇〇〇	二五、九五〇	囑託手當、通信運搬費其他諸費
第二目 事務費	六三九、三四〇	六四五、〇〇〇	五、六六〇	優良支部及頒布從事者表彰費
第三目 頒布普及費	二四九、九五〇	四〇〇、〇〇〇	一五〇、〇五〇	

第七項 神社調查費	一五、〇〇〇	三五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	調查委員手當
第一目 神社調查費	一五、〇〇〇	三五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	會報印刷代
第八項 會報費	五四四、九七〇	七四七、〇〇〇	二〇二、〇三〇	編輯手當及原稿用紙代
第一目 印刷費	三五二、六二〇	五二〇、〇〇〇	一六七、三八〇	約束郵便料
第二目 編輯費	八四、八〇〇	八五、〇〇〇	二〇〇	縣下樞要支部管内ニ於テ執行費用
第三目 雜費	一〇七、五五〇	一四二、〇〇〇	三四、四五〇	出征軍人祈願肌守料及軍隊通過ノ際寄贈其他諸費
第九項 社會事業費	二八三、六六〇	四九五、〇〇〇	二一一、三四〇	出征軍人戰病死者慰靈祭費
第一目 活動寫真費	二九、四〇〇	一五〇、〇〇〇	一二〇、六〇〇	總會諸費
第二目 講演會費	〇	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	氏子總代会講師手當二人
第三目 稿軍費	三五、〇〇〇	三五、〇〇〇	〇	褒狀其他記念品代
第四目 戰傷病死者慰靈祭費	二一九、二六〇	二六〇、〇〇〇	四〇、七四〇	會員死亡玉串料不足額四〇圓ハ豫備費ヨリ流用
第十項 總會費	三一八、七〇〇	三五〇、〇〇〇	三一、三〇〇	
第一目 總會費	三一八、七〇〇	三五〇、〇〇〇	三一、三〇〇	
第十一項 氏子總代会費	三五、〇〇〇	四〇、〇〇〇	五、〇〇〇	
第一目 氏子總代会講師派遣費	三五、〇〇〇	四〇、〇〇〇	五、〇〇〇	
第十二項 表彰費	三一、五〇〇	四〇、〇〇〇	八、五〇〇	
第一目 表彰費	三一、五〇〇	四〇、〇〇〇	八、五〇〇	
第十三項 弔慰費	七〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	
第一目 弔慰費	七〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	
第十四項 支部補助費	五四三、〇〇〇	四八一、〇〇〇	六二、〇〇〇	

第一目 支部補助費	五四三、〇〇〇	四八一、〇〇〇	六三、〇〇〇	〔支部費補助不足額六二圓ハ豫備費ヨリ流用〕
第五項 代表者派遣費	一九〇、〇〇〇	一九〇、〇〇〇	〇	
第一目 本縣選出全國神職評議員旅費	一七五、〇〇〇	一七五、〇〇〇	〇	
第二目 中州九縣聯合神職會派遣費	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	〇	
第六項 負擔金及寄贈金	一一〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	
第一目 全國神職會寄贈金	九五、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	四五、〇〇〇	寄贈金二三五圓ニ増額負擔ヲ受クルコト、ナリタルモ内一四〇圓ハ昭和六年度ヨリ七年度分トシテ支出ニ付殘金ノミテ支出ス
第二目 中州九縣聯合神職會負擔金	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	〇	
第三目 岡山縣教化團體聯合會負擔金	〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	廣島縣主催ノ負擔金補助金ト相殺ノ爲メ
第四款 豫備費				
第一項 豫備費		一五六、〇〇〇	一五六、〇〇〇	廣島縣主催ノ負擔金補助金ト相殺ノ爲メ
第一目 豫備費		一五六、〇〇〇	一五六、〇〇〇	
合 計	四、九一六、二一〇	五、九三三、〇〇〇		

收入支出差引
殘金四百貳拾參圓參拾壹錢也

內
金四拾貳圓參拾參錢也
金參百八拾圓九拾八錢也

岡山縣神職會資金明細書
基本財産

豫備資金積立
翌年度繰越金

(昭和八年度末)

種 類	現 金	有價證券	摘 要
前年度繰越金	一、〇五九、三七〇	三、四〇〇、〇〇〇	
公債利子	一一、二五〇		
農工債券利子	一六一、八二〇		
預金利息	二七、五六〇		
振替口座貯金	一七、〇〇〇		基本財産増殖寄贈金
計	一、二七八、〇〇〇	三、四〇〇、〇〇〇	償還ノ爲メ拂戻ス
岡山縣農工債券額面		二、〇〇〇、〇〇〇	債券償還金ヲ預ケ入ル
計		二、〇〇〇、〇〇〇	
岡山縣農工銀行特約預金	二、〇〇〇、〇〇〇		
岡山縣農工銀行特別當座預金	一、二八一、〇〇〇		
岡山郵便局預納金	三〇、〇〇〇		
振替口座貯金	一七、〇〇〇		
五分利公債證書		五〇〇、〇〇〇	
岡山縣農工債券額面		九〇〇、〇〇〇	
計	三、二七八、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	

豫備資金

種別	現金		摘要
	前年度繰越金	本年度積立金	
受 前年度繰越金	六七四、三六〇		
受 本年度積立金	二六、五七〇		
受 當座預金	二二、二八〇		
拂 岡山縣農工銀行特別當座預金	七三三、二二〇		
計	七〇〇、〇〇〇		
現在 岡山縣農工銀行特別當座預金	七〇〇、〇〇〇		
計	二二、二八〇		
計	二二、二八〇		
計	二二、二八〇		

岡山縣神職會資金管理規則

第一條 資金ノ種別左ノ如シ

- 一 基本財産
- 二 豫備資金

第二條 基本財産ハ之ヲ費消スルコトヲ得ス

基本財産ヨリ生スル利子ハ之ヲ經費ニ充ツルコトヲ得

第三條 毎年度收入支出決算殘金(神宮大麻及曆頒布費ヲ除ク)ニ對シ左ノ割合ニ依リ算出シタル額ハ之ヲ豫備資金ニ積立ツヘシ

壹千圓迄 百分ノ十

貳千圓迄 壹千圓ニ對シテハ前號ノ割合

參千圓迄 貳千圓ヲ超ユル金額ニ對シテハ百分ノ三十

參千圓以上 貳千圓ヲ超ユル金額ニ對シテハ百分ノ五十

豫備資金ハ之ヲ經費ニ充ツルコトヲ得

第四條 基本財産利子又ハ豫備資金ヲ經費ニ充用セムトスルトキハ當該年度收入支出豫算ヲ以テ評議員會ノ議決ヲ經ヘシ但シ毎年度收入支出豫算ニ定ムル經費ヲ支出スルニ當リ收入之ニ伴ハサル爲已ムヲ得

サル場合ニ限リ會長ニ於テ豫備資金ヲ一時經費ニ運用スルハ此ノ限ニアラス

前項但書ニ依リ豫備資金ヲ運用シタルトキハ當該年度收入金ヲ以テ之ヲ積戻スヘシ

第六條 資金ハ官公署ニ預託ヲ必要トスル場合ノ外之ヲ有價證券ト爲シ又ハ郵便官署若ハ評議員會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入スヘシ

第七條 毎年度資金收入支出及管理ノ狀況ハ之ヲ評議員會ニ報告スヘシ

附則

從前ノ資金ハ之ヲ本令ノ規定ニ依ル基本財産トス豫備資金ハ昭和三年度以降ニ於ケル收入支出決算殘金ヨリ之ヲ積立ツルモノトス

第二 寺院

縣下寺院ハ其ノ數千四百九十二ニシテ眞言宗最モ多ク天台、日蓮、曹洞、臨濟之ニ亞グ、其ノ著名ナルモノ

ニ岡山市内ニ於テ日蓮宗蓮昌寺、臨濟宗國清寺、又地方ニ於テ天台宗ニ金山寺、真言宗ニ觀音院、淨土宗ニ誕生寺、臨濟宗ニ寶福寺、日蓮宗ニ妙覺寺等アリ
 各郡市別寺院、住職數左ノ如シ
 (昭和八年末現在)

郡市名	天台宗	真言宗	淨土宗	臨濟宗	曹洞宗	黃檗宗	真宗	日蓮宗	合計
岡倉津御赤和邑	一六	二二	一〇	一	一	一	一	一	二二
津山敷	四	一四	六	一	一	一	一	一	二二
磐氣	六	三	一	一	一	一	一	一	一六
久氣	一	一〇	一	一	一	一	一	一	一六
都兒	二	二	一	一	一	一	一	一	一〇
淺都	四	二	一	一	一	一	一	一	一〇
小後	二	一	一	一	一	一	一	一	一〇
吉後	二	一	一	一	一	一	一	一	一〇
合計	二一	二二	一〇	一	一	一	一	一	二二

郡市名	天台宗	真言宗	臨濟宗	曹洞宗	淨土宗	真宗	日蓮宗	黃檗宗	合計
上川阿真苦勝英久合	一八	三一	三	一	一	一	一	一	二二
房上哲庭田田田米計	二	一	一	一	一	一	一	一	二二
川上	二	一	一	一	一	一	一	一	二二
阿真	一	一	一	一	一	一	一	一	二二
苦勝	一	一	一	一	一	一	一	一	二二
勝英	一	一	一	一	一	一	一	一	二二
英久	一	一	一	一	一	一	一	一	二二
合計	二一	二二	一〇	一	一	一	一	一	二二

住職數

(昭和八年末現在)



郡市名	受檢人員	甲種	乙種第一	乙種第二	丙種	丁種	戊種	受檢壯丁トノ百分比
岡倉	七三七	一七四	五二	一四六	三三九	二二	三	二〇
津山	一九八	五三	一八	三九	七五	一三	三	二〇
御氣	二七七	七六	二四	五九	一〇九	九	一	二〇
赤磐	四六六	一一五	三六	八九	二〇二	二二	一	二一
和氣	四九一	一二四	三八	九一	二一三	二四	一	一九
上郡	四九八	一四一	四五	一一	一六九	三〇	二	二二
邑上	三九五	一二九	三二	七八	二〇一	二九	二	二二
兒島	三九一	八七	三二	二一八	一六八	二二	四	二〇
都窪	九六六	二九九	一〇四	二一八	二八一	六四	一	二二
淺田	六二五	一六四	六五	一一四	二四三	三九	一	二二
小月	一、〇五九	三二一	九六	一九〇	三八九	五九	四	二一
後月	八八一	二二八	九〇	一五八	三六三	四一	一	二一
吉房	四一一	一二五	一九	七一	一六七	二八	一	二一
上房	四二六	一八八	四四	一四七	二六三	三〇	三	二一
哲上	五一一	一五八	四〇	七七	一五六	二五	一	二一
阿川	四九〇	一四九	四三	九四	一七九	二四	一	二一

四五

壯丁ノ體格ハ他府縣ニ比シ優良ナラサルモ現役兵及第一補充兵ノ徵集要員ヲ充足シテ尙相當餘裕ヲ存セリ
 壯丁ハ一般ニ穩健著實ニシテ殊ニ青年訓練所生徒ノ如キハ徵兵署ニ於ケル言動極メテ眞面目ナリ
 各郡市受檢壯丁體格等位別調左記ノ如シ

第三 壯丁ノ體格狀況

(昭和八年)

郡市名	受檢人員	甲種	乙種第一	乙種第二	丙種	丁種	戊種	受檢壯丁トノ百分比
淺田	三二	四〇	三〇	一一	九	一	一	三
吉房	三〇	三〇	二二	一一	九	一	一	三
上房	三一	三一	二二	一一	九	一	一	三
阿庭	三一	三一	二二	一一	九	一	一	三
眞庭	五三	五三	四四	二二	一八	一	一	三
勝田	三七	三七	二二	一一	九	一	一	三
英田	二九	二九	二二	一一	九	一	一	三
久米	七一	七一	二八	一九	一三	一	一	三
合計	七一一	七一一	二八四	一九九	一五九	一〇二	一六〇	四四

合		久	英	勝	苦	眞		
計	米	田	田	田	庭	計	米	田
一、一五	四四二	三八六	五七五	四八一	五九〇	三、三六〇	九	九
一七六	一六二	一五九	一四一	一七六	一七六	一、〇三四	三	一
五七	四一	四一	四一	五七	五七	二、四〇五	八	六
一二五	八六	一八	八六	一二五	一二五	四、六〇三	一	九
三九	三〇	三一	三〇	三九	三九	六七九	三	四
一	三	一	三	一	一	三四	二	二
三〇	三四	二九	二八	三〇	三〇	二八	二	二
一〇	一〇	七	七	一〇	一〇	九	七	八
二一	二一	二一	二一	二一	二一	二〇	一	一
三三	三三	三九	三二	三三	三三	三八	四	三
七	六	五	五	七	七	六	八	八
〇、二	〇、二	〇、二	〇、二	〇、二	〇、二	〇、三	〇、一	〇、一

第四 壯丁トラホーム、花柳病患者 (昭和八年)

壯丁ノ「トラホーム」患者ハ昭和八年ニ於テ千三十五名又花柳病患者百三十七名ニシテ各受檢壯丁ノ百分比左ノ如シ

郡市名	受檢人員	ト ラ ホ ム			花 柳 病		
		重症	中等症	輕症	梅毒	軟下横症	痲疾諸病
岡	七三七						
敷	一九八						
山	二七七						
津	四六六						
磐	四九一						
氣	四九八						
和	五三五						
計		六四	一六	二六	一一	二	一四
ノ百分比		八、六五	八、〇八	八、六六	一、一八	〇、六四	一、五八

合		久	英	勝	苦	眞	阿	川	上	吉	後	小	淺	都	兒	上
計	米	田	田	田	庭	哲	上	房	備	月	田	口	窪	島	道	
一、一五	四四二	三八六	五七五	四八一	五九〇	四九〇	五一五	四二六	六七五	四一一	八八一	一、〇五九	六二五	九六六	三九一	
一七六	一六二	一五九	一四一	一七六	一七六	一、〇三四	二	二	二	二	二	三	二	二	二	
五七	四一	四一	四一	五七	五七	二、四〇五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一二五	八六	一八	八六	一二五	一二五	四、六〇三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三九	三〇	三一	三〇	三九	三九	六七九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	三	一	三	一	一	三四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三〇	三四	二九	二八	三〇	三〇	二八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一〇	一〇	七	七	一〇	一〇	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二一	二一	二一	二一	二一	二一	二〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三三	三三	三九	三二	三三	三三	三八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
七	六	五	五	七	七	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
〇、二	〇、二	〇、二	〇、二	〇、二	〇、二	〇、三	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	〇、一	

第五 所在不明ノ爲徴兵處分未済者

所在不明徴兵處分未済者調

(昭和八年)

區別	當年開始メテ生ジタル人員實數		逃亡所在不明ノ爲徴集シ得ザリシ人員		所在發見ノ上當年徴兵處分未済者タル者		逃亡所在不明ノ爲徴兵處分未済者ニシテ該當者	
	實數	當年適齡者トノ百分比	計	員	實數	徴集シ得ザリシ人員トノ百分比	實數	該當者
第一 徴募區 和氣 勝田 英田 苦田 眞庭 久米	二		一九	一八	三九			五
第二 徴募區 赤上 赤磐 道上 久米	二		一四	二六	四二			一
第三 徴募區 御津 赤上 赤磐	一		一六	二七	四四			二
第四 徴募區 吉備 御津 赤上	五		二六	三四	六五			一
第五 徴募區 阿房 御津 赤上	三		一九	三三	五五			三
計			一八	一〇	二八			一

區別	當年開始メテ生ジタル人員實數		逃亡所在不明ノ爲徴集シ得ザリシ人員		所在發見ノ上當年徴兵處分未済者タル者		逃亡所在不明ノ爲徴兵處分未済者ニシテ該當者	
	實數	當年適齡者トノ百分比	計	員	實數	徴集シ得ザリシ人員トノ百分比	實數	該當者
第六 徴募區 小田 後月 淺口	二		三一	四三	八五			四
第七 徴募區 都窪 兒島	四		三二	一七	二二			五
第八 徴募區 岡山 倉敷	一		二	三五	七二			四
第九 徴募區 津山 倉敷	一		一五	二	一七			五
第十 徴募區 津山 倉敷	一		六	一五	二二			四
第十一 徴募區 津山	二		一五	二五	四六			三
計	二九		一八	一〇	二八			一

第六 短期現役兵身體検査成績

(昭和八年)

昭和八年短期現役兵トシテノ徴兵検査ハ二月九、十ノ兩日岡山縣師範學校ニ開設ス、受檢人員百三十一名ニシテ内短期現役兵トシテ徴集シタル者八十七人ナリ
右成績ヲ郡市別ニ掲記スレバ左ノ如シ

郡市名	受檢人員	甲種	第一乙種	第二乙種	丙種	丁種	戊種
岡山	六	三	一	一	一	一	一
倉敷	二	一	一	一	一	一	一
津山	二	一	一	一	一	一	一
計	一〇	五	三	三	三	三	三

第四條 前項ノ事業又ハ豫算ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ承認ヲ受クヘシ
左ニ掲クル場合ニ於テハ補助金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ變更シ既ニ交付シタル金額ノ全部又ハ一部ヲ返納セシム

- 一 豫定ノ事業ヲ實施セス又ハ之ヲ縮小シ若ハ變更シタルトキ
- 二 事業費決算額豫算額ニ比シ減少シタルトキ
- 三 本令ノ規定ニ違背シタルトキ

第五條 補助金ノ交付ヲ受ケタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ年度經過後二月以内ニ知事ニ報告スヘシ

- 一 事業實施ノ狀況
- 二 決算
- 三 年度末會員數及財産額
- 四 所屬分會ノ狀況

第六條 知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ補助金ノ交付ヲ受クル聯合分會ノ書類帳簿等ニ付検査ヲ行フコトアルヘシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
在郷軍人聯合分會收支決算調
附 則
(昭和八年度)

岡	聯合分會	會員負擔金	市町村補助並一般寄附金	財産收入其ノ他雜入	繰越金	國庫補助額	縣費補助金	合 計
山	110,000	1,500,000	101,710	210,350	226,903	216,000	2,275,990	

會津	津磐	氣磐	久氣	道氣	島氣	窪氣	口氣	田氣	月氣	備氣	房氣	上氣	哲氣	庭氣	田氣	田氣	英勝		
27,500	305,850	747,330	327,700	115,000	472,000	272,340	251,000	249,000	112,000	248,000	647,290	600,000	464,000	387,900	300,000	275,000	363,500	180,000	
50,000	814,940								100,000										
33,930	63,830	479,390	9,660	12,320	203,430	76,800	15,090	25,560	3,850	65,800	21,560	1,390	62,970	75,600	5,850	1,260	10,500		
73,960	38,290	159,810		46,920	117,460	280,000	86,500	337,790	1,930	21,270	10,320	1,290	68,080	17,000	17,000	29,750	40,000		
49,900	75,580	128,500	127,720	103,040	146,600	126,160	211,160	165,260	257,500	99,140	155,180	100,700	123,820	122,260	129,280	126,940	103,040		
40,000	128,000	152,000	168,000	144,000	144,000	168,000	152,000	136,000	128,000	136,000	152,000	144,000	144,000	144,000	136,000	160,000	160,000		
275,290	1,120,640	1,255,550	1,052,710	633,980	726,490	1,122,960	786,360	921,140	619,280	570,210	970,350	884,870	798,950	785,860	563,130	904,650	943,540		

和 邑 上 兒 都 淺 小 後 吉 上 川 阿 真 苦 勝 英 久 鐘 合
 氣 久 道 島 窪 口 田 月 備 房 上 哲 庭 田 田 田 米 山
 計 山 米 田 田 田 庭 哲 上 房 備 月 田 口 窪 島 道 久 氣

五七、七一六	二七二	一、七九四	二、一一〇	二、四八七	二、二一七	二、四一六	三、〇一六	一、五九三	一、八二四	二、七七〇	一、七〇八	四、三一八	五、六六九	二、七九九	四、二五七	二、五三四	二、七六六	二、〇四三
一、九五四	二〇	六六	八六	一〇四	二六七	八八	一	七六	三三	一一〇	七三	一二	六五	三四	五一	五七	六六	一三二
四六六					六	二	一七六	三	二	二		一七四	六				四〇	一
七三五		三	四五	四九	六一	三五	四二	二二	三六	四四	三四	一〇八	六一	二〇	二五	三一		二七
一二三																		
六																		
六、〇〇〇		一、八六三	二、二四二	二、六四〇	二、四五一	二、五四一	三、二三四	一、六九四	一、八九五	二、九二六	一、八一五	四、六一二	五、八〇一	二、八五三	四、三三三	二、六二二	二、八七二	二、二〇三

六〇

第四章 國 寶

國寶保存法ニ依リ國寶ニ指定セラレタル建造物、寶物其ノ他ノ物件ハ建造物十八筆寶物其ノ他ノ物件四十五筆計六十三筆ニシテ其ノ名稱、構造形式、又ハ種類、品目及在地所有者等左ノ如シ

國 寶 調

名 稱	構 造 形 式	所在地	社格宗名	所有者	備 考
吉備津神社 本殿及拜殿	本殿桁行正面五間、裡面七間、梁行八間、單層、屋根比翼入母屋造、檜皮葺、拜殿三間四面、重層、屋根切妻造、檜皮葺	吉備郡 眞金町	官幣中社	吉備津神社	明治三十五年內務省告示第二十六號指定
吉備津神社 南隨神門	八脚門、屋根入母屋造、本瓦葺	同	上同	上同	明治四十四年內務省告示第三十四號指定
吉備津神社 北隨神門	八脚門、屋根入母屋造、檜皮葺	同	上同	上同	大正二年內務省告示第二十四號指定
中山神社本殿	桁行三間、梁行三間、單層、屋根入母屋造、檜皮葺	苦田郡 一宮村	國幣中社	中山神社	大正三年文部省告示第八十五號指定
總社本殿	桁行三間、梁行三間、單層、屋根入母屋造、柿葺	津山市縣	社總社	同	同上

六一

熊野神社本殿	一間社春日造、屋根檜皮葺	兒島郡郷	熊野神社	大正十年文部省告示第三百五十二號指定
八幡神社本殿	桁行五間、梁行三間、單層、屋根入母屋造、檜皮葺	上房郡川村	八幡神社	大正十四年文部省告示第二百三十六號指定
長福寺塔婆 (三重塔)	三間三層塔婆、屋根柿葺 (現今下二重葺)	英田郡福本村	長福寺	大正十年文部省告示第三百五十二號指定
金山寺本堂	桁行五間、梁行六間、單層、屋根入母屋造、本瓦葺	御津郡牧石村	金山寺	大正十二年文部省告示第二百十二號指定
本山寺本堂	桁行五間、梁行五間、單層、屋根四注造、柿葺	久米郡吉岡村	本山寺	同上
遍照院塔婆 (三重塔)	三間三層塔婆、屋根本瓦葺	淺口郡西阿知町	遍照院境内	大正十四年文部省告示第二百三十六號指定
西明院外五ヶ院塔婆 (二重塔)	三間三層塔婆、屋根本瓦葺	和氣郡香登町	西明院外五ヶ院境内	大正十五年文部省告示第二百五十號指定
寶福寺塔婆 (三重塔)	三間三層塔婆、屋根初重二重本瓦葺 三重銅板葺	吉備郡總社町	寶福寺境内	昭和二年文部省告示第二百十八號指定
妙本寺鎮守堂	一間社流造、屋根柿葺	吉備郡大和村	妙本寺境内	同上
岡山城天守	六層天守、右方附屬鹽藏重層、屋根總本瓦葺	岡山市内山下	東京府東京市芝區高輪南町 侯爵池田宣政	昭和六年一月十九日文部省告示第八號
岡山城月見櫓	天層隅櫓、一部地階ヲ有ス、屋根本瓦葺	同上	同上	昭和八年一月二十三日文部省告示第十四號
同 石山門 (澁藏門)	短折櫓門、屋根兩端入母屋造、本瓦葺	同上	同上	同上
同 城西九西手櫓	二層櫓、屋根本瓦葺	同上	同上	同上

寶物其ノ他物件之部

等級	種類	品目	所在地名	社格宗名	所有者	備考
中種四等繪	畫	絹本着色如意輪觀音像	岡山市富	真言宗	中藏院	明治三十四年内務省告示第五十四號指定
同 上	同	絹本着色地藏菩薩像	同	同	同	
同 三等	同	紙本着色地獄繪卷	同	同	安住院	
同 上	同	木造不動二童子像	真庭郡木山村	同	勇山寺	
同	同	木造藥師如來坐像	同	同	同	
乙種書蹟	同	木造神號額(傳行成筆)	津山市二宮	縣社	高野神社	
同	同	木造十一面觀音立像	英田郡林野町	真言宗	安養寺	
甲種四等繪	畫	絹本着色兩界曼荼羅圖	同	同	長禪寺	
同 上	同	絹本着色不動明王像	同	同	同	
同 上	同	絹本着色十二天像 (傳僧呼筆)	同	同	同	
彫刻	同	木造十一面觀音立像	同	同	同	

同	甲種四等同	木造聖觀音立像	一軀	岡山市野	同	法界院	同
同	丙種書蹟	木造釋迦如來坐像 <small>(延文三年十一月ノ銘アリ)</small>	一軀	和氣郡伊部町	日蓮宗	妙國寺	同
同	甲種四等同	紙本墨書四座講式 <small>(高辨筆)</small>	四卷	和氣郡伊里村	真言宗	千手院	同
同	甲種四等同	絹本墨書山水圖 <small>(傳馬遠筆)</small>	一幅	邑久郡牛窓町	日蓮宗	本蓮寺	同
同	丙種美術工藝	色々威甲冑	一領	同今城村	鄉社	北島神社	同
同	甲種三等繪	木造藥師如來坐像	一軀	同	天台宗	餘慶寺	同
同	甲種三等繪	絹本着色佛涅槃圖	一幅	同大宮村	真言宗	遍明院	同
同	甲種四等同	絹本着色彌陀二十五菩薩來迎圖	一幅	同	同	同	同
同	丙種美術工藝	藍草肩白腹卷 <small>(附明輪二傳足利尊氏奉納)</small>	一領	同	同	同	同
同	甲種四等同	絹本着色不動三十六童子左右兩界曼荼羅圖	三幅	同鹿忍町	同	寶光寺	同
同	同	銅鐘	一口	同西大寺町	同	觀音院	同
同	同	紙本淡彩餓鬼雙紙	一卷	同富山村	臨濟宗	曹源寺	同
同	同	木造毘沙門天立像	一軀	同菅生村	真言宗	安養寺	同

同	甲種四等同	木造吉祥天立像	一軀	同小田郡三谷村	同	同	同
同	同	絹本着色愛染明王像	一幅	同	同	同	同
同	同	絹本着色四所明神像	一幅	同	同	同	同
同	同	絹本着色地藏菩薩像	一幅	同	同	同	同
同	同	絹本着色愛染明王像	一幅	同	同	同	同
同	同	絹本着色五大尊像	一幅	同	同	同	同
同	同	紙本着色佛涅槃圖像	一幅	同小田郡內村	同	同	同
同	同	絹本着色地藏十王像	一幅	同神島外村	同	同	同
同	同	木造地藏菩薩立像	一軀	同後月郡高屋町	同	同	同
同	同	木造不動明王坐像	一軀	同	同	同	同
同	同	絹本着色地藏菩薩像	一幅	同吉備郡總社町	同	同	同
同	同	絹本着色十王像	十幅	同	同	同	同
同	同	絹本着色釋迦三尊像	一幅	同上房郡高梁町	同	同	同

同	上彫刻	木造千手觀音兩脇土像 銘井上真改延寶五年八月日(菊ヲ切ル) 三軀	阿哲郡 豐永村	真言宗	三尾寺	同	明治四十五年內務省 告示第十一號指定
丙	種刀劔	大刀拵絲卷太刀 附池田綱政寄進狀一通 一口	御津郡 一宮村	國幣小社	吉備津彦 神社	同	大正六年文部省告示 第七十二號指定
丙	種金石文	銅壺(下野國勝國依母夫人骨壺) 附墓誌斷片(左衛士府(以下缺) 夫人下(以下缺)) 一枚	小田郡 三谷村	真言宗	國勝寺	同	大正六年文部省告示 第七十二號指定
甲種四等彫	刻	木造聖觀音立像 一軀	邑久郡 今城村	天台宗	餘慶寺	同	大正六年文部省告示 第三百三十七號指定
	同	木造五智如來坐像 五軀	同 大宮村	真言宗	遍明院	同	大正六年文部省告示 第三百六十八號指定
丙	種刀劔	大薙刀 銘盛光 拵黒漆柄薙刀 一口	同	同	同	同	同
同	同上	刀 無銘傳守利池田空山寄進 附 寬文十年十月ノ折紙一通 目錄一通刀箱一個 寄進 一口	兒島郡 琴浦町	同	蓮臺寺	同	同
丙	種同	大刀 銘國行 一口	津山市 院庄	縣社	作樂神社	同	昭和四年文部省告示 第七十九號指定

昭和九年四月十三日印刷
昭和九年四月十五日發行

岡山縣學務部社寺兵事課

岡山市門田四三五

印刷者 村尾磯太郎

岡山市門田四三五

印刷所 村尾印刷所

14.4
1000

終